

すみだ三十六景

テーマ 「すみだで見つけた春の知らせ」

すみだには、どんな“春の知らせ”が届いたのでしょうか。ここでは、応募があった写真の中から数点をご紹介します。



「おっとと」 撮影者：大塚康彦さん



「ちいさい春、みつけたー！」 撮影者：和泉 江里子さん



「タワーと桜」 撮影者：菊池益夫さん



「春を告げる福寿草」 撮影者：生田目 末吉さん

引き続き、7月1日号に掲載する写真を募集します！

7月のテーマ 「すみだの歴史スポット」 *応募方法等の詳細は今号2面を参照

夢

すみだに大学がやってくる

墨田区長

山本 亨

隅田川の^{かわも}川面をそよ吹く風が心地よい季節になりました。隅田川と隅田公園は、昔から人々の憩いの場所であり、花見や花火、レガッタなどの舞台として本区に賑わいをもたらしてくれる大切な財産でもあります。

この財産を共有する墨田区と台東区は、昭和52年4月10日に姉妹区提携宣言を行いました。今年は、姉妹区提携40周年を迎えたことから、先月10日、提携のシンボルである桜橋上で、両区の区長と議長がこれまでの歩みを振り返り、今後の発展に向けてさらに連携・交流を深めていくことを確認しました。

連携という点では、もう一つ大変面白いニュースがあります。去る3月22日、本区は国立大学法人千葉大学と「包括的連携に関す

る協定」を締結し、長年の念願であった大学誘致に向けて大きな一歩を踏み出しました。

今後、協定に基づいて旧すみだ中小企業センターを活用した新キャンパスの整備や、日本初となる「デザイン・建築スクール」の設置、大学のもつ知的資源の活用、地域経済の活性化などをめざして協議を進めていきます。

また、大学と共に新キャンパスに集う人々と地域をつなげる仕組みをつくるなど、「ものづくりのまち すみだ」に息づく伝統・文化・技術にふれながら学ぶことができる“知”の拠点としていく考えです。

このたびの協定を出発点として、千葉大学との連携・協力をさらに深め、区政の諸課題の解決につなげるとともに、新キャンパスの

誕生によって文化の香り高いまちづくり、そしてそれを担う人づくりを一層推進し、「すみだの夢」の実現に向けた歩みを着実に前進させていきます。



千葉大学との包括的連携協定に調印しました